

事 務 連 絡

平成 30 年 2 月 9 日

正会員 事務局長 各位

公益社団法人全国産業廃棄物連合会

専 務 理 事 森 谷 賢

除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン等の
改正について（周知依頼）

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして
厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件につきまして、厚生労働省労働基準局長より当連合会に対し、
別紙のとおり周知依頼がございました。

今般、平成 30 年 2 月から平成 34 年 1 月までの 3 箇月ごとの期間について、
土壌等の放射能濃度の簡易測定に関する係数を追記する等、下記のガイドライ
ンを改正することとしております。各ガイドラインの改正箇所については、参
考資料をご参照ください。

つきましては、貴職におかれましても、貴協会会員に対し周知いただく等、
格段のご配慮、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- ・ 別添 1「除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」
- ・ 別添 2「特定線量下業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」
- ・ 別添 3「事故由来廃棄物等処分業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガ
イドライン」

※別添 1～3 は厚生労働省 HP（<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000029897.html>）からダウンロードできます。

基 発 0130 第 5 号
平成 30 年 1 月 30 日

公益社団法人全国産業廃棄物連合会長 殿

厚生労働省労働基準局長



除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン等の改正について

労働安全衛生行政の運営につきましては、平素より格段の御理解、御協力をいただきお礼申し上げます。

さて、厚生労働省では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質に係る除染等業務、特定線量下業務及び事故由来廃棄物等の処分業務に従事する労働者の放射線障害を防止するため、「東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則」（平成 23 年厚生労働省令第 152 号。以下「除染電離則」という。）及び「電離放射線障害防止規則」（昭和 47 年労働省令第 41 号。以下「電離則」という。）等を施行等するとともに、「除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」（平成 23 年 12 月 22 日付け基発 1222 第 6 号）、「特定線量下業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」（平成 24 年 6 月 15 日付け基発 0615 第 6 号）及び「事故由来廃棄物等処分業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」（平成 25 年 4 月 12 日付け基発 0412 第 2 号）を定め、その適切な実施を指導しているところです。

今般、平成 30 年 2 月から平成 34 年 1 月までの 3 箇月ごとの期間について、土壌等の放射能濃度の簡易測定に関する係数を追記するなどこれらのガイドラインを改正いたしました。

つきましては、下記改正内容に御留意の上、貴団体会員に対し周知いただくとともに、除染等業務等における放射線障害防止対策の一層の推進を図られるようお願い申し上げます。

おって、各ガイドラインの改正箇所については、別添参考資料を御参照ください。

記

- 1 「除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」を別添 1 のとおり改めること。
- 2 「特定線量下業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」を別添 2 のとおり改めること。
- 3 「事故由来廃棄物等処分業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」を別添 3 のとおり改めること。